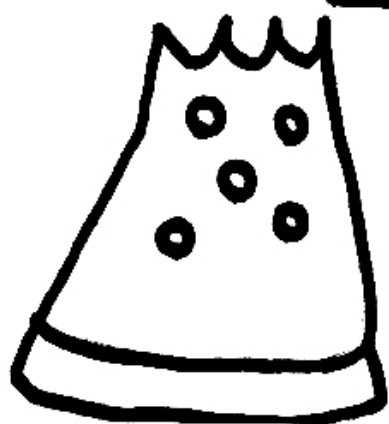
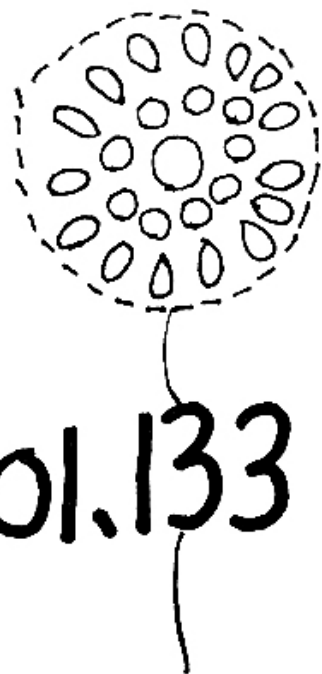


とよ・たち
美肌通信

8月号 Vol.133



August

今月号のとびたち美肌通信の表紙は、

花火やかき氷！スイカなど夏を楽しめるもの
が"たくさん♡"きっと今年の夏もすてきな
夏になりまうね！

おどる事や泳ぐ事が趣味で、

料理やチーホルダーなどを作る

事が好きな、女の子が描いて

くれました。

なんと！3年生でなめとびの三重とびが
できるそうです。すごい!!!

院長はじめスタッフ一同

バリエーション感謝いたします。

旧約聖書の創世記に登場するノアの方舟という章を知っておられる方はいるかと思います。概略は神の怒りによる人類への初めての制裁とも言えるものです。

アダムとエバの子孫は当初、地上に人類の繁栄をもたらしていた。しかし人類が益々豊かになるにつれ、社会には欲望や憎悪や悪徳が氾濫する様になっていった。神はその事に失望し大洪水を起こし一掃したという話です。そんな人類の中でも、善人であるノアとその家族が神に選ばれ、彼等に造らせたのが方舟でした。そして旧約聖書の通り多くの人々が知る結果となる訳ですが、ユダヤ教で子育ての教訓として用いる話として、このノアの方舟を以下の様に用いている。

神の怒りによりこの地上に大洪水を起こされた時、ノアの方舟には男と女そして動物のオスとメスを二つずつ乗せられた。最後に「善」が方舟に乗ろうとしてやって来たが神は「カッパルでしか乗せられない」と言い拒否した。そこで「善」

はもう一人の「善」を連れて来たが、神は「善と善はカッポルではない」と言い拒否した。やむなく「善」は大嫌いな「悪」と手をくっつけてやってきた所、神は乗船を許した。

ノアの方舟には全てカッポルしか乗船できなかった。そこで善と悪が、苦と楽が、薬と毒が、福と禍が、富と貧がカッポルで乗ってきた。だからこの世界には常に二つが存在する。しかもこれらは手を結いで存在すると共に、二つが別々に独立するのではなく 矛盾する二つが常に一緒にいるのだとユダヤ教ではこう教える。

ノアの方舟には相反するものが対になって乗っていたという教えは、善いものと悪いものとが同じ顔をしているということである。悪魔が善人の顔をし、善人が悪魔の顔をしているということでもある。この区別が多くの人には分からない。往々にして善人の顔にしか見えなないということでもある。

これら、一見相反する単語や出来事は以前に私が本誌で書いた「陰陽太極図」とも通ずる所である。表現の仕方は違えども洋の東西を問わず、心の持ち様や真理には共通する核となるべくものが存在するのであらうと感じる。

院長、埤